

『地域、利用者と共に職員自らによる
福祉価値の創造と
永続的な幸福生活の追求』

『私たちは、利用される一人ひとりと
手をつなぎ、心をあわせ、
だれもが自分らしさを大切にできる
ことを原点とします。』

ほほえみ

「さくまならではの“のサービス”を
地域の皆様と共に！」

心穏やかな新年をお迎えるの
こととお慶び申し上げます。

理事長

笹ヶ瀬 慶造

平素より、「社会福祉法人

さくま」の運営に対しまし
て、ご利用者、ご家族ならび

に地域の皆様の温かいご支援

とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。



さて、私たちが暮らす中山間地域“さくま”は、
人口減少や高齢化がますます進み、医療や福祉サ
ービスを維持していくうえで多くの課題に向き合っ
ています。しかしながら、日々の活動を通じて地
域の皆様の温かなお声がけや支え合い、そして限
られた資源の中で協力してくださる関係者の皆様
の姿に、いつも勇気づけられています。“さくま”な
らではの「顔の見える関係」が、何よりの強みで
あると改めて感じております。

本年も、この住み慣れた地域の実情に合わせ、
きめ細やかな支援を追求してまいります。ご利用

者の安心・安全な生活を第一優先とし、質の高い
サービス提供を目指し、ご家族の皆様やボランティ
ア、行政機関などとの連携を一層深め、地域全体
で高齢者の暮らしを支えることに注力してまいり
ます。また、人材確保、ICT(情報通信技術)導入
による生産性向上、職員が働きやすい環境整備な
ど、具体的な課題にも着実・丁寧に取り組んでま
いります。

福祉サービスを提供する現場で大切なことは、
日々の支援を通じて、ご利用者の安心と生活の質
(QOL)を高めていくことです。私たちは、一人
ひとりのウェルビーイング(心身の健康・つながり・
生きがい)を大切にし、丁寧に寄り添う“さくま
ならではの”支援を継続してまいります。

本年も、皆様と共に、笑顔あふれる毎日を築い
ていきますよう、職員一同で心を合わせ多様化す
る地域生活課題の解決に取り組んでまいります。
引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い
申し上げますとともに、皆様が健やかで幸せな一年
となりますことをお祈りいたします。

さくまの里まつり を開催しました

10月の気持ちの良い秋晴れの中、さくまの里まつりが行われました。
今回は初の日曜日開催ということもあり、ご家族に加え、近隣住民の皆さまにも来ていただくことができ、お祭りらしい大変なにぎわいでした。
ご利用者もご家族とともに売店を見て回ったり、飛龍太鼓の演奏を見たりと、いつもと違う雰囲気の中で楽しそうな笑顔をたくさん拝見することができました。



お祭りといえなくてはならない
太鼓の演奏。
さくま飛龍太鼓の皆さま。



水風船すくいに挑戦。
なかなか難しく、懸命にすくって
いらっしゃいました。



「こんな近くからでもなかなか入らないね～」
狙いを定める眼差しに力が
入っていました。



食べ物がいろいろあり、どれに
しようか皆さま熟考して
お買い求めになっていました。

お寿司屋さんが限定開店!!

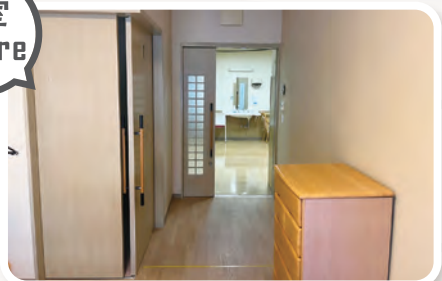
入居職員発案でお寿司企画を開催しました。板前に扮した給食課職員が目の前でお寿司を握ってくれました。久しぶりの握り寿司に皆さま大喜びで、たくさん召し上がっていました。またこのような企画を考えて実施していきたいと思います。



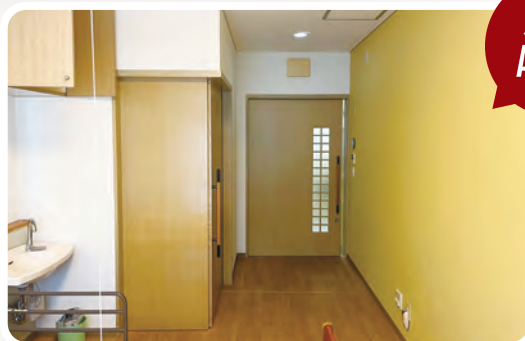
特養の大規模修繕を行っています

さくまの里特養では本年度見守りシステムの導入および内装等の大規模修繕を計画しております。11月より2号館2階、3号館1階・2階において居室内の壁紙交換や食堂等共用部の補修工事が着工いたしました。

居室
Before



居室
After



アクセントカラーが入り、より明るい雰囲気になりました。

工事期間中、ご利用者の皆さまにはご迷惑をお掛けしますがご協力のほどよろしくお願いいたします。



私達と一緒に働きませんか？

Q & A

今回はさくまの里で仕事もプライベートもしっかり充実させている二人の職員をご紹介します。

牧野 倫昂



金森 祐子



Q 出身は？

A. 牧野 菊川市
金森 水窪町

Q さくまの里に勤めたきっかけは？

A. 牧野 自然豊かな場所にありキャンプや登山が好きなので。
金森 地元で働きたい気持ちがあり、自宅から近くて知り合いの職員も多かったから。

Q 私の職場はどんなところ？

A. 牧野 ベテラン職員が多く在籍していて、仕事の不明点を聞きやすいので安心して働くことができます。
金森 みんな気が合って、チームワークが良くて働きやすいです。

Q 今、仕事で頑張っていること、挑戦したいことはありますか？

A. 牧野 まずは現場で起きる事案に適切に対応できるよう責任感を持っていきたいです。
金森 学会に取り組みながら、ご利用者が少しでも楽しく過ごしてもらえるように寄り添っていきたいです。

Q 休日の過ごし方や趣味は？

A. 牧野



登山、キャンプ、神社巡り、珈琲。

金森



買い物をしてストレス発散、趣味は大好きな矢沢永吉のコンサートに行くことです。

Q 最後に一言どうぞ

A. 牧野 今ある経験や資格を活かしながらさらに学び、これからも介護業界で頑張りたいです。
金森 楽しく働けるように健康に気をつけて、ご利用者が安心して過ごせるように心がけていきたいと思います。

訪問介護サービスのご案内

訪問介護は、高齢者やご家族が、毎日の生活を安心して続けられるようにヘルパーがご自宅へ伺ってお手伝いをするサービスです。サポートできる内容は大きく分けて「生活援助」と「身体介助」の2つがあります。

生活援助では

- 食材の買い出し、調理、片付け、ゴミ捨て、お掃除、洗濯などをしています。

その他に身体介助として

- 食事の介助や見守り
- 一人で入浴が困難な方への入浴の介助
- トイレやおむつ交換の介助
- 内服薬の確認や一週間分の薬の準備 などをお手伝いすることも可能です。



ご本人、ご家族の気持ちやペースを大切にしながら、安心安全に介助を行うよう心がけています。「こんなことはお願いできるの?」といったご質問だけでもOKですのでぜひお気軽にお問合せください。

社会福祉法人さくま
さくまの里

053-965-1855
担当：大戸



さくまの里管理栄養士おススメ



節分と豆

お正月が終わると今度はすぐに節分ですね。節分では大豆を鬼にぶつける豆まきが有名です。「魔の目（まめ）」に豆を投げつけ「魔を滅する（まめ）」という語呂合わせと、病気や災害を鬼に見立てて追い払う邪気払いの意味があります。

今回はさくまの里のメニューの中から、簡単に作れて鬼を追い払えるような豆いっぱいなレシピをご紹介します。ぜひ作ってみてください。

「すごく簡単！ たっぷり豆ごはん」

材料
(2人分)

- お米1合 …………… カップ1杯
- 市販の蒸しサラダ豆 1パック
(お好みで栗、銀杏、むきエビなど)
- ★めんつゆ …………… 大さじ1
- ★塩 …………… 一つまみ
- ★みりん …………… 小さじ2
- ★酒 …………… 小さじ2



作り方

- ① 炊飯器に米を入れて★調味料を加え、1合の目盛りまで水を加えて軽く混ぜる。
- ② 蒸し豆サラダ、お好みの具をのせて炊き込む。
- ③ 炊き上がったたら具がしっかり混ざるように混ぜて完成。

※炊飯器の説明書をご確認の上お試しください。

さくまの里 稼働状況 (11月)

サービス	定 員	利用者数 (1日平均・月末時点)
特別養護老人ホーム (入居)	44 名	44.0 名
短期入所生活介護 (ショートステイ)	20 名	19.1 名
通所介護 (デイサービス) 一 般 型	25 名/日	19.7 名
訪問介護 (ホームヘルプサービス)	—	7.0 名
高齢者福祉センター (生活支援ハウス)	19 名	7.0 名

随時お申し込み受付中。早急な特養入所をご希望の方はお問い合わせください。

手作りの門松ありがとうございました

ボランティアの皆さまに門松を作っていただきました。毎年恒例となり、面会に来られるご家族にも大変好評です。皆様のおかげで良い新年を迎えることができました。温かなお心遣いに感謝申し上げます。



社会福祉法人 さくま 「さくまの里」

- 特別養護老人ホーム
- デイサービスセンター (一般型)
- 高齢者生活福祉センター
- ホームヘルプサービスセンター
- 在宅介護支援センター

〒431-3908
静岡県浜松市天竜区佐久間町中部18-15
TEL: 053-965-1855

発行責任者 中野 幸代

編 集 後 記

もうすぐ節分になります。毎年恒例となり、毎年豆をたくさん食べています。今年もたくさん買って楽しもうと思っています。

K・S

ご寄付・ボランティア

ありがとうございました。
(10～12月・順不同、敬称略)

ボランティア

- さくま飛龍太鼓
- 佐久間そば友会
- 川合有志の会
- 伊藤利光

ご寄付

- 濱野亜也
- 平賀ときの
- 桐村 茂
- 住田文江
- 田高節子
- 浦川友遊キッチン
- 更生保護女性会
- 匿名(11名)